

NPO法人 曾木まちづくり協会

理事長 あいさつ



平成 27 年（2015 年）6 月に開催されました、第 10 回通常総会において、第 2 代 理事長に就任いたしました、田口重信でございます。

はじめに、私なりに曾木町がどのような町か少しご紹介させていただきます。

曾木町は人口 900 人強の小さな町で岐阜県の東濃地方の土岐市南部（豊田市に隣接）に位置し、東濃の軽井沢と誰ともなく称するとおり、標高 353（曾木支所）メートルほどの高さにあつて、真夏の夜であっても涼しくて大変過ごしやすく、冬の降雪は 1 シーズン数回程度の気候の町です。そして、国道 363 号線沿いには、温泉健康増進促進施設「バーデンパーク SOG I」があり、年間 2 万人を超える来場者が温泉施設を楽しんでいます。また、温泉施設の向えにある曾木公園では、十年ほど前から始まった「逆さもみじライトアップ」事業が有名となって、毎年秋には 2 万人を超える来園者で賑わいを呈しております。

古くは、名古屋市から長野県飯田市を結ぶ中馬街道（国道 363 号線沿い）がとおり、曾木温泉宿（現曾木公園）、お君が塔、馬頭観音、道祖神など多数の史跡が曾木地内に点在しており、「逆さもみじのまち 散策マップ」を片手に曾木町内を見てまわることができます。

田舎の割には交通アクセスも良く、東海環状道、中央道のそれぞれインターチェンジから車で 20 分ほど、また、東京駅へは自宅を車で出てから JR 中央線と新幹線を乗り継ぎ、3 時間ほどで到着できます。そして、余談ですが最も近いコンビニまで 5、6 分で到達することもできます。

これらの環境下、田舎の風景、田舎ならではの住民相互のコミュニケーションも良い土地柄か、ここ数年、当町では空き家を求めたり土地を購入して家を建てたりして移り住む方も増えつつある状況です。

さて、当 NPO 法人は、平成 17 年（2005 年）11 月に設立され、理事 10 名、監事 3 名、会員 25 名の規模で初代理事長として沼田昇三氏が就任して活動を開始しました。

この法人の目的は、「曾木地区内や他地区の人々との交流をはかり、自然と共生する癒しのまちづくりに関する事業を行うことによって、そこに住む人、働く人や、周囲の人々が元気に暮らせるまちづくりの推進に寄与することを目的」としております。

事業実績としては、

- 1 紫陽花をバーデンパーク SOG I 駐車場最上段と曾木公園法面に植栽
- 2 花桃をバーデンパーク SOG I 国道沿い及び郷の木地区に植栽
- 3 名古屋市から長野県飯田までを結ぶ「中馬街道」の曾木地区内に陶製道標（19 箇所）を作製、設置

- 4 陶製道標の作製と併行して、曾木地内の中馬街道沿いに点在する史跡 22 箇所を紹介する「中馬街道散策マップ」を作成
- 5 曾木町全域に点在する史跡等を紹介する「史跡等の案内看板」を 52 箇所作製、設置
- 6 ホタルの飼育、放流
- 7 水仙をバーデンパーク SOG I の国道 3 6 3 号線沿い及び同パーク隣接地の休耕田に 2800 球を植栽
- 8 カタクリを曾木公園内に植栽
- 9 土岐市主催の史跡めぐりウォーキングにて中馬街道をガイド
- 10 曾木町全域の史跡等を紹介した「逆さもみじのまち 曾木案内図」の看板（縦 1.5m×横 2m）をバーデンパーク SOG I 地内に設置
- 11 「逆さもみじのまち 曾木案内図」を設置したことに伴い、土岐市のまちづくり推進補助を受け「散策マップ」を作成、市内外の主要箇所に配置
- 12 土岐市最高峰 曾良山（712.4m）登山の計画・実施

などの事業を行っております。

今後も、当NPO法人の目的に沿ったまちづくりの推進に寄与する活動と情報発信を行ってまいりますので、当サイトを閲覧された皆様からのご意見、温かいご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。